

**病院の実力「腰の病気」**  
医療機関別2019年手術・治療実績  
(読売新聞調べ)

医療機関名	千葉	腰部椎間板ヘルニア	椎間板内酵素注入療法	(人)	(人)	腰部脊柱管狭窄症手術(人)	うち椎弓形成術(人)	うち椎弓切除術(人)	椎間板摘出術(人)
		腰部脊柱管狭窄症手術(人)	うち椎弓形成術(人)			腰部脊柱管狭窄症手術(人)			
船橋整形外科	184	99	85	114	17				
亀田総合	171	46	125	51	19				
東京歯科大市川総合	132	75	57	15	1				
習志野第一	117	58	59	85	1				
松戸整形外科	115	64	51	44	12				
成田赤十字	106	48	58	47	12				
千葉大	86	28	58	0	5				
順天堂大浦安	80	40	40	15	5				
新東京	79	39	40	21	3				
さんむ医療セ	73	37	36	28	4				
千葉メディカルセ	67	60	7	68	0				
国保君津中央	57	21	33	10	3				
国保旭中央	57	11	46	10	0				
船橋市立医療セ	53	40	18	21	0				
慈恵医大柏	51	25	26	6	0				
松戸市立総合医療セ	50	25	25	3	2				
白金整形外科	40	40	0	8	0				
東京ベイ・浦安市川医療セ	31	21	10	25	6				
東邦大佐倉	26	16	10	5	5				
おゆみの中央	7	3	4	18	0				
幕張ク	5	2	3	22	0				
<b>茨城</b>									
筑波記念	109	7	102	13	0				
日立総合	94	3	91	2	0				
筑波学園	89※	89	—	93	—				
筑波メディカルセ	46	26	20	28	0				
鳴崎	45	37	8	31	1				
土浦協同	40	4	38	20	2				
国・水戸医療セ	29	21	8	10	0				
<b>埼玉</b>									
済生会川口総合	433	129	304	132	16				
TMGあさか医療セ	274	36	238	62	0				
さいたま赤十字	145	80	65	29	0				
JCHO埼玉メディカルセ	97	68	29	13	0				
埼玉医大	62	41	21	8	0				
川口市立医療セ	56	12	44	41	3				
春日部中央総合	55	43	14	20	0				
東埼玉総合	55	25	30	18	0				
埼玉医大総合医療セ	54	35	19	30	1				
イムス富士見総合	52	50	2	41	10				
越谷市立	51	11	40	10	5				
上尾中央総合	50	33	17	37	0				
防衛医大	44	26	18	13	12				
独協医大埼玉医療セ	43	3	40	2	1				
東大宮メディカルセ	35	12	23	15	0				

「国・」は国立病院機構、「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「ク」はクリニック、「一」は無回答または不明。※脊椎固定術は含まず。

今月は「腰の病気」を取り上げる。脊椎脊髄専門医のいる医療機関の「腰部脊柱管狭窄症」や「腰部椎間板ヘルニア」の手術実績などを掲載した。背骨(脊椎)の中には、脳からつながる中枢神経(脊髄)

# 病院の実力

152

## 腰の病気

が通っている。

「脊柱管狭窄症」は、加齢に伴い骨が変形するなどして神経の通り道(脊柱管)が狭窄になり、神経が圧迫されて起こる。腰痛や脚の痛み、しびれ、まひなどの症状が出る。痛み止めなどの薬や運動、コルセットなどによる保存療

法が基本だが、排尿障害が起きる場合などは早期の手術が勧められる。手術法には、背骨の一部を切り取るなどして神経への圧迫を取り除く「椎弓切除術・椎弓形成術」や、骨がずれて不安定になつている場合に行う「脊椎固定術」がある。

「椎間板ヘルニア」は、背骨と背骨の間でクッションの役割をしている椎間板が飛び出して神経を圧迫する病気。20~40歳代に多い。多くは保存療法で改善するが、痛みやしびれが長引き、悪化する場合は手術を検討する。

手術と保存療法の中間的な治療として、椎間板に薬を注射しヘルニアを縮小させる「椎間板内酵素注入療法」が2018年に保険適用された。手術に比べると身体への負担は少ないが、生涯に1回しかできない。

腰痛や下半身の痛みには様々な原因があり、診断が重要だ。痛みやしびれが長引く場合は、専門医を受診したい。

全国の調査結果は20日  
の「安心の設計面」に掲  
載しました。

# 痛みやしびれ 診断重要